

JASMIM ジャーナル（日本音楽即興学会誌） 執筆規程（和文, 英文共通）

日本音楽即興学会編集委員会

1. 原稿の書式

原稿は横書きの日本語または英語とし、学会ホームページよりダウンロードした「投稿用フォーマット(和文)」もしくは「投稿用フォーマット(英文)」を使用して、A4判の用紙で文字の大きさを10.5ポイントとして作成したものとする。

2. 原稿の分量

和文、英文とも、分量に制限はありませんが、「投稿用フォーマット(和文)」または「投稿用フォーマット(英文)」を用いて、総説、原著論文、研究報告は20頁以内、資料は10頁以内を目安とします。

3. 原稿の構成

原稿は、表紙、和文要約、英文要約、本文(注を含む)、文献より構成する。

3.1 表紙

表紙には以下の項目を順に記載する。なお、著者名は表紙以外には記載しない。

(1) 投稿の種類

「投稿用フォーマット」の「1.投稿原稿の種類」のうち、総説、原著論文、研究報告、資料のいずれかを選択する。

(2) 題目(和文および英文)

和文で副題を付ける場合は、全角ダッシュ「—」でくくる。

例) 音楽療法における即興の課題 —統合失調症者を対象として—

英文については、副題を付ける場合、コロン「:」でつなぐ。コロンの後は大文字とする。

例) Improvisation in Music Therapy: Human Communication in Sound

(3) Key words (英語で5つ以内とし、固有名詞や略語以外は小文字で始める)

例) mental hospital, Rorschach test, graphical user interface (GUI)

(4) 著者名等の表記(和文)

著者名とその所属機関名

例) 佐藤太郎*1 鈴木花子*2 田中次郎*3 高橋桜子*4

*1 ○○大学○○学部○○学科

*2 ○○病院

*3 所属なし

*4 ○○大学○○学部博士課程○○専攻

Taro SATO*¹

*1 Department of ○○, Faculty of ○○, ○○ University

(5) 著者名等の表記(英文)

著者名とその所属機関名

例) Taro SATO*¹

*1 Department of ○○, Faculty of ○○, ○○ University.

3.2 和文要約

総説, 原著論文, 研究報告は和文 400~600 字程度, 資料は 200~600 字程度とする.

3.3 英文要約

総説, 原著論文, 研究報告は 100~200 語程度, 資料は 50~200 語程度とする.

3.4 Key words

5 つ以内. 「, 」で区切ることにする.

3.5 本文

本文については, 以下の規程に従うものとする.

(1) 略語

略語は, 初出時に, 原語を記載しその後括弧をつけて略語を記載する.

例) American Music Therapy Association (AMTA)

(2) 映像・音源・写真等の引用

自作など(著作権を侵害しない)映像・音源・写真等の引用を認める. その場合は, 本文中に貼り付けることとする. 学会ホームページの「著作権および CCL に関する規定」を参照することとする.

(3) 見出し

見出し番号の順は, 原則として

1. 2. …

1.1 1.2 …

1.1.1 1.1.2 … とする.

さらに小さい見出しが必要な場合は, 原則として (1) (2) …, 1) 2) …, とする.

(4) 句読点等

和文は, 句点は全角でピリオド(.), 読点は全角でコンマ(,)とし, 括弧やコロンの全角とする. 外国語, 数字は半角とする.

(5) 注

注で書誌情報を詳しく記述する方式は、注の数を増やし、結果として論文自体のページ数を増やしてしまうため避けることとする。参照した文献の詳しい書誌情報は、論文末に「文献」としてまとめることとする。また、注のなかで書誌情報に言及する必要がある場合は、本文と同様に丸括弧方式で言及することとする。

注は、最初に出たものから順に、右肩付数字で、…ⁱ、…ⁱⁱのように示す。文章の切れ目につける場合は、コンマ、ピリオドの直前の右肩に記す。そして文末の「文献」の前に一括して記載する。

3.6 文献

3.6.1 本文中の記載方法

著者名の直後、またはコンマ、ピリオドの直前に記す。

著者が3名以上の場合は筆頭著者のみとする。

同一文献の異なる箇所を引用する場合で、それぞれページ番号を明示したいときはページ番号も記す。

同姓の著者がいる場合は名も記す。

同一著者、同一発行年の引用文献は、発行年のあとに接尾語 a, b, c などを記す。

例) (佐藤, 2017)

(佐藤・鈴木, 2018)

先行研究では・・・という報告もある (佐藤ら, 2019)。

(佐藤歌子, 2017, p.101)

佐藤 (2017a) は・・・と述べている。

(Ansdell & Stige, 2010)

Ansdell et al (2012) found・・・

3.6.2 「文献」欄の記載方法

本文中に引用した文献資料は、そのすべてを論文末の「文献」(和文) "References" (英文) 欄に一括して掲げる。

すべての著者名を姓が前にくるように表記する。

筆頭著者の姓によって、和文も英文もアルファベット順、または和文は五十音順・英文はアルファベット順に記載する。

同一著者の文献資料が複数ある場合は、出版年の早い順に記載する。

(1) 雑誌論文

著者名(発行年), 論題名, 雑誌名, 巻(号), 頁-頁。

①著者名は全員を列記し、コンマでつなぐ。

②論題名の後ろと最後はピリオド, 他の区切りはコンマ。

③副題は、日本語の場合は副題の前後に全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ。

④雑誌名は省略せず正式な表記とし、外国語文献の雑誌名はイタリック体。

⑤頁は引用箇所ではなく論文の開始頁から最終頁。

例) 林光 (1991), 創造と日常のあいだ—バッハ・モーツァルト・宮澤賢治—音楽教育, 325, 7-20.

佐藤太郎, 鈴木花子, 田中次郎, 高橋桜子 (2017), 学校音楽教育における即興の意義. ○
○ジャーナル, 5 (1), 22-30.

Mandel, E. S. (2019), Patient Satisfaction and Benefits of Music Therapy Services to Manage Stress and Pain in the Hospital Emergency Department. *Journal of Music Therapy*, 56(2), 149-173.

Frye, B. (1990), Art and multiple personality disorder: An expressive framework for occupational therapy. *American Journal of Occupational Therapy*, 44(11), 1013-1022.

(2) 図書

著者名(発行年), 書名. 版, 発行所, 発行地.

①著者名は全員を列記し, それぞれコンマでつなぐ.

②書名と発行地の後ろはピリオド, 他の区切りはコンマ.

③外国語文献の書名はイタリック体.

④副題は, 日本語の場合は副題の前後に全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ.

⑤版表示は当該図書の表示に従う(第二版, 改訂新版など).

例) 林謙三 (1964), 正倉院楽器の研究. 風間書店, 東京.

佐藤太郎, 鈴木花子編 (2016), 日本における即興音楽の歴史. 第2版, 音符出版, 東京.

Grout, D. J. (1960), *A history of Western music*. Norton, New York. 服部幸三, 戸口幸策訳 (1969),
西洋音楽史. 音楽之友社, 東京.

バニエ, ジャン (1989), 音の叫び—心に傷を負った人々からのメッセージ—. 佐藤太郎,
鈴木花子監訳, 音符出版, 東京.

American Psychological Association (2010), *Publication manual of the American Psychological Association*. 6th ed., American Psychological Association, Washington DC.

De Nora, T. (2000), *Music in Everyday Life*. Cambridge University Press, Cambridge.

(3) 図書のセクション

当該部分の著者名(発行年), 当該部分の題名. 編著者名, 書名, 版, 発行所, 発行地, 頁-頁.

①著者名, 編著者名は全員を列記し, コンマでつなぐ.

②当該部分の題名と発表年の後ろはピリオド, 他の区切りはコンマ.

③外国語文献の書名(当該部分の題名ではない)はイタリック体.

④副題は, 日本語の場合は全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ.

⑤版表示は当該図書の表示に従う(第二版, 改訂新版など).

⑥頁は引用箇所ではなく当該部分の開始頁から最終頁(引用箇所は必要に応じて本文に記載).

例) 佐藤太郎 (2017), 20世紀の即興. 鈴木花子, 田中次郎編, 即興音楽大系, 第2版, ドレミ
ファ出版, 京都, 83-130.

Pavlicevic, M. & Ansdell, G. (2004), Introduction 'The ripple effect'. In Pavlicevic, M. & Ansdell, G. eds., *Community music therapy*, Jessica Kingsley Publishers, London, 15-31.

(4)ウェブ情報

著者名(公開年), ウェブページの題名. ウェブサイトの題名, URL, 参照年月日.

①題名と最後はピリオド, 他の区切りはコンマ.

②外国語サイトの場合, ウェブサイトの題名はイタリック体.

例)厚生労働省(2019), 平成30年患者調査の概況. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/11/>,
(アクセス 2019.4.30) .

World Health Organization, Global strategy to reduce harmful use of alcohol.

http://www.who.int/substance_abuse/activities/gsrhua/en/, (accessed 2015.7.31).

(5)録音物

アーティスト名(発表年), 曲名. アルバム名, (媒体), レーベル名.

例)山下洋輔(1998), ダブル・ヘリックス. キアズマ, (CD), ポリドール.

Bailey, D. (2005), Explanation & thanks. Carpal Tunnel, (CD), TZADIK.

(6)楽譜

作曲者名(刊行年), 曲名. 曲集名, 版, 編者・校訂者名, 発行所, 発行地.

例)Verdi, G. (1982), Rigoletto: Critical Edition Study Score. Series I, Operas Book 17, Chusid, M. ed.,
University of Chicago Press, Chicago.

3.7 図表

図表は, 本文中に挿入することとする.

図表は, 図 1, 図 2, …… , 表 1, 表 2, ……として, すべて表題をつける.

4. 原稿等の提出

投稿用フォーマットで作成された原稿(Word)を, 編集委員会宛にメール添付(e-mail: jasmim.journal@atmarkgmail.com アットマークの部分は半角@に変更)にて提出する. 査読で修正を求められた場合, 修正箇所はハイライト(黄色マーカー)で示し, 査読を受けた元原稿と修正原稿を提出する. 査読終了後は, 最終原稿を提出する.

2009年10月1日制定・施行

2020年4月7日修正